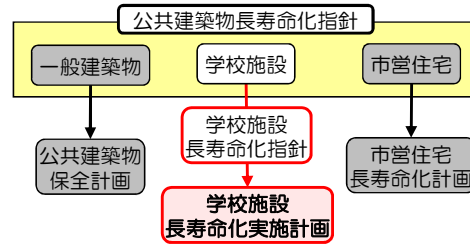


新潟市学校施設長寿命化実施計画（概要）

1. 計画の目的と位置づけ

新潟市学校施設長寿命化指針に基づき、学校施設について中長期的な実施計画を策定することにより、目標使用年数80年を目指し、学校施設の長寿命化対策の効果的な実施を図る。

計画期間は平成29～38年度の10年間とする。



2. 計画の対象

対象施設

市立学校施設（小学校、中学校、特別支援学校、高等学校、幼稚園、中等教育学校）のうち、以下の施設を計画の対象とする。

- ・構造が木造以外であり、階数が2以上または延べ面積が200㎡を超えるもの
- ・構造が木造であり、階数が3以上または延べ面積が500㎡を超えるもの

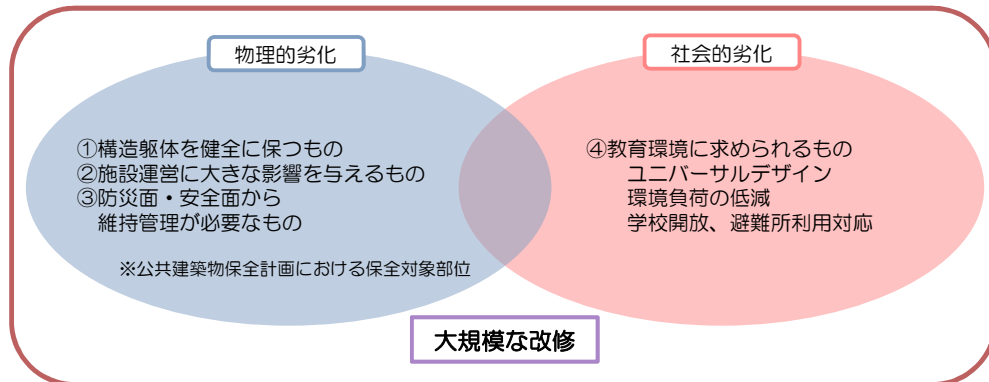
平成28年4月1日時点

	小学校	中学校	特別支援学校	高等学校	幼稚園	中等教育学校	計
施設数 (校・園)	108	56	2	2	10	1	179
棟数 (棟)	533	351	16	5	17	8	930
延面積 (㎡)	625,152	406,815	12,217	20,806	9,570	16,146	1,090,706

対象工事

指針における学校施設整備の基本方針に基づき、経年等による建物の物理的劣化に対応する改修と、学校施設を取り巻く環境や社会的・技術的情勢の変化（社会的劣化）に対応し、より良い教育環境を確保するための改修を総合的に実施する大規模な改修工事を計画の対象とする。

必要に応じて個別に実施される比較的更新周期の短い設備機器等の更新や、立地条件等により劣化の進行が著しい箇所の部分的な補修については、計画の対象外とする。



3. 施設整備の水準

大規模な改修の実施にあたり、建物の構造体やインフラ等の耐久性を高めること及びより良い教育環境を確保するため施設機能の充実を図ることの両方の視点において、以下のとおり施設整備の水準を定める。（※一部を抜粋）

改修部位	従来一般的な施設水準	改修整備水準	
①構造躯体を健全に保つもの			
外壁・屋根	耐用年数が短い材料	耐用年数が比較的長い材料	
②施設運営に大きな影響を与えるもの			
受変電設備	屋外設置	屋内設置	
空調調和設備	冷房設備 未設置	管理諸室等にエアコン設置	
衛生設備	給水設備 高置水槽方式	直結・加圧給水併用方式	
③防災面・安全面で配慮が必要なもの			
防災設備	防火区画	防火シャッター 防火扉または安全装置付シャッター	
防犯対策	侵入防止	未設置 入口にオートロック、インターホンを設置	
④教育環境に求められるもの			
ユニバーサルデザイン	段差解消	未対応	スロープの設置
	手摺	未設置または片側設置	階段の両側に設置
環境負荷の低減	照明設備	蛍光灯	LED照明
	衛生設備	未対応	節水型機器、高効率機器
トイレ	多様な利用への配慮	未設置	多様な利用に配慮したトイレの設置
	床	湿式	乾式
	衛生器具	和式便器のみ	洋式便器設置
給食室	非ドライシステム	ドライシステム	
地域利用等	ボランティア室	未設置	設置
	放課後児童クラブ	未設置	必要に応じて設置

4. 長寿命化の実実施計画

○老朽度調査等による優先度の評価

- ▶各学校施設における現地調査による施設の劣化状況と、建築年または大規模な改修工事からの経過年数により優先度を評価する。

○計画期間内の実施対象校の抽出

- ▶優先度の評価を基に、計画期間内での実施対象校を抽出する。
- ▶実施にあたり、関係担当部署等との経営的・技術的検討の結果、長寿命化への対応に適さない施設と判断された施設については、大規模な改修工事以外の手法を検討する。

○長寿命化の効果

- ▶改築による整備と比較し、工期が短く、学校運営への影響が少ない。
- ▶建物の使用期間における1年あたりの必要なコストが縮減される。
- ▶改築主体の従来の整備サイクルでの事業実施と比較し、計画期間内（10年間）において必要となる事業費が縮減される。

